

## 全ての生徒に多様な学びの場を確保する不登校対策

### 不登校児童・生徒の状況

当該生徒は、中学校に通う3年生で、2年生の9月頃から不登校傾向となっている。メンタルサポーターの活用やサポートルーム（校内別室指導）の利用により、安定して学校に登校できるようになった。

### 具体的な取組

#### ○魅力ある学校づくり

- ・生徒の特性を理解した学級経営による居場所づくり
- ・生徒により企画運営された学校行事（体育祭、文化祭）における絆づくり
- ・生徒の心理と行動特性に関する教員研修の実施



#### ○不登校支援校内委員会の開催

- ・メンバー  
管理職、不登校支援コーディネーター、生活指導主任、各学年生活指導担当、養護教諭、SC、SSW
- ・内容…不登校及び不登校傾向生徒の状況と支援の検討
- ・頻度…2週間に一度

#### ○サポートルームの設置と協力体制の強化

- ・不登校及び不登校傾向にある生徒が、学級に復帰を目標としての居場所に向け、サポートルームを設置
- ・教員や支援員等の協力体制づくり
- ・相談体制の充実

#### ○デジタル機器を活用した支援

- ・豊かな学習体験を提供するための管理ツールを活用した生徒及び保護者との連絡
- ・ビデオ通話によるオンライン授業の実施



### 成果

- ・教職員が生徒一人一人の特性を理解して、多様な個性に対応することにより、生徒の教職員への信頼が高まった。
- ・サポートルームの環境整備と教員等の支援体制などを充実したことでチームとして、支援ができたことで、不登校生徒に登校できるようになった。

### 課題

- ・サポートルームでの学習支援を個々の状況に合わせて進めていく必要がある。
- ・オンライン授業をさらに充実させていく必要がある。